



これは人形劇ではなく人間ドラマだ

脚本家ジェームス三木が贈る渾身の歴史絵巻

脚本にはジェームス三木を迎え、古今の文学の基礎を築いたといわれる三国志の魅力をいやが上にも増幅。出会い、別れ、葛藤、そしてスペクタクル…。様々なエピソードを散りばめながら進む雄大なストーリー、そして三顧の礼、赤壁の戦いをはじめとした名シーンの数々が、人生を高らかに謳いあげます。

ジェームス三木



●ジェームス三木(脚本家)

「何とんでも川本さんの人形が素晴らしい。それに人形を使う人々の驚くべき技術。かつて、日本の武士の教養は、中国文化を父としていた。信長も秀吉も家康も三国志を愛読したに違いない。そしてその世界は、時代や洋の東西を問わず普遍的なのである。」

を打ち破る
力さ

身の丈1.2m以上、重さ5Kgもの
大型人形を操作する技術

